



社会福祉法人

南風荘だより

No.124

社会福祉法人 南風荘

〒755-0152 山口県宇部市あすとぴあ2丁目2-15
TEL(0836)43-6211 FAX(0836)43-6225
E-mail selp-n@ace.ocn.ne.jp
URL <http://www.nanpuso.or.jp>

社会福祉法人南風荘 創立60周年記念式典・祝賀会



平成26年10月10日
ANA クラウンプラザホテル宇部 3階
万葉の間・国際会議場に於いて

新年のごあいさつ



理事長 伊藤 洋文



年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。

平成二十七年の輝かしい新年を皆様と共に迎え出すことが出来ましたことを心からお喜び申し上げます。

昨年は、社会福祉法人南風荘の各施設が取り組んで参りました諸事業に一方ならぬご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

特に、当法人が創立六十周年の節目を迎え記念式典の挙行や記念誌の編纂、そしてシンボルマークを制定するなど、次の百周年に向けて新たな一歩を踏み出すことが出来ました。

また、このときに当たり重要文化財復元の第一人者であり日本画家の「馬場良治」氏作の「神原桜」をモチーフにした大作「日本画」をご恵与頂きましたことは光栄の上なく誠に感謝に堪えません。

有難うございました。

これもひとえに、利用者、後援会の皆様、役員及び関係機関や関係各位の温かいご支援ご協力に深く感謝致しますとともに厚くお礼を申し上げます。

さて、時代の流れと共に障害者福祉制度も大きく変革され、福祉サービスの利用は、措置制度から契約制度へと転換、「障害者自立支援法」は「障害者総合支援法」に改正され、従来の「障害程度区分」から障害の特性等を示す「障害支援区分」に、また、障害者に対する支援として「重度支援介助の対象拡大」「ケアホームのグループホームへの一元化」や「地域移行支援の対象拡大」が施行される等、取り巻く制度環境は変化しており、その変化に対応した施設経営が求められる、また、福祉サービスにおける民間企業等の参入、福祉ニーズの多様化・複雑化、既存の社会保障や福祉政策にとどまらない切

れ目のない生活支援サービスへの期待など、法人を取り巻く環境は大きく変化しており、社会福祉法人の役割、経営の在り方そのものが問われてきたのであります。

更に、社会福祉法人について「非課税扱いにされているに相応しい対応を、国や地域に貢献を、低所得者への支援を」など積極的な取り組みが求められる等、さまざまな議論や指摘が卓上に上がり、今後の事業経営においては「課税納税問題・介護報酬減対策問題・医療法人の介護事業進出問題・人口減少問題・利用者や職員の獲得競争問題」等…の課題を視野に、先を見据えた事業展開をすべきとの指摘があり、これからの施設運営に当たっては誠に厳しいものがありますが、役員一同、社会福祉の理念と基本姿勢のもと、期待にこたえる「たよりになる」施設づくりに全力を傾注してまいる決意であります。

どうか、皆様方の豊富なご見識によるご支援を負うことが最も心強いことであり一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます次第であります。

終わりに、皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念し、新年の挨拶と致します。

各事業所住所・電話番号

◎セルブ南風

◎ふれあいのお店 南風

〒七五五-0151
住 所 宇部市あすとびあ二丁目二一五
TEL 0836-4316211
FAX 0836-4316225
E-mail seip-n@ace.ocn.ne.jp

◎セルブときわ

〒七五五-0151
住 所 宇部市西岐波大沢西前
TEL 0836-5410130
FAX 0836-5110335
E-mail seip-ktw@c-able.ne.jp

◎セルブ岡の辻

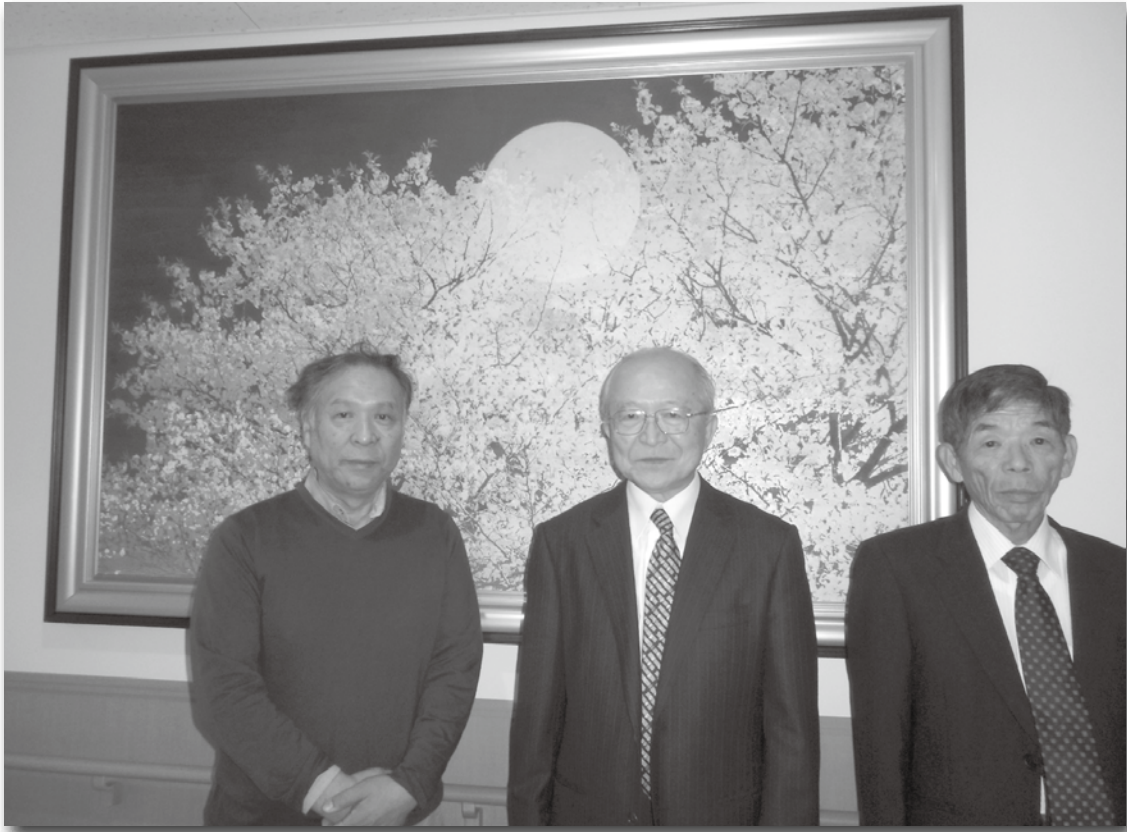
〒七五五-0151
住 所 宇部市大字西岐波字
西迫ノ田二一八九番地六〇
TEL 0836-5412960
FAX 0836-5412961
E-mail seip-o@c-able.ne.jp

◎セルブ藤山

〒七五五-0808
住 所 宇部市西平原四丁目三四二一
TEL 0836-3816666
FAX 0836-3816667
E-mail seip-f@cosmos.ocn.ne.jp

◎ぴあ南風

〒七五五-0062
住 所 宇部市鵜の島町五二一
TEL 0836-3115151
FAX 0836-3115160
E-mail pianan1@circus.ocn.ne.jp



絵：馬場良治氏（左） 寄贈者：栗井郁雄氏（中央） 西重 常務理事（右）

神原桜の絵画

栗井郁雄氏寄贈に感謝

常務理事 西重 國隆

セルプ南風の改築移転に伴い、旧施設に自生していた山桜を南風荘後援会が「神原桜」と命名し平成二五年十二月十三日に新施設の地に移植された。その桜も翌年四月には、見事な花を咲かせ、利用者の皆さんから歓声と安堵の表情を忍ばせたのであった。同年三月頃、南風荘後援会長 栗井洋子さんから、この神原桜をモチーフに絵を寄贈したいとの意向があり、快諾しました。

花満開の下、馬場良治さんが来られ、デッサンポイントを決められるや、花冷えのするなかで下書きを終えられた。

平成二六年十月二十日、元山口大学工学部教授、現(株)リユーテック代表取締役、工学博士 栗井郁雄氏から馬場良治氏の立会いの下で150号の大作が寄贈された。

馬場氏は地元棚井在住の日本画家で、東京芸術大時代の恩師、平山郁夫氏の下で文化財建造物の復元に携われ、選定保存技術保持者（技術者の人間国宝）とも呼ばれる。）として国から認定を受けられ、現在では重要文化財復元の第一人者である。

南風荘の宝物として、又利用者の皆様方が心身の拠り所として、共に共感し見守って行く貴重な作品を贈呈していただき心より感謝申し上げます。

最後に、最先端の技術を開発・駆使され、人類の暮らしの隅々まで行きわたる光明を担っておられる大家、作者・馬場良治、贈呈者 栗井郁雄両先生の今後のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

60周年記念式典及び祝賀会

当法人は昨年、創立60周年の節目を迎えました。皆様のご支援に支えられて今日を迎えることができましたことに、心より感謝申し上げます。

10月10日には、記念式典及び祝賀会を開催し、ご来賓の皆様、南風荘卒業生、南風荘後援会、利用者、職員他総勢340数名のご出席をいただいて、盛会のうちに終えることができました。また、当日ご出席がかなわなかった方々からも、お祝いのお言葉などを多数頂戴しましたこと重ねてお礼申し上げます。

記念式典においては、長年共に歩んできた利用者の方々やお世話になった方々への感謝状の贈呈、新たに制定されたシンボルマークの発表などを行い、祝賀会においては、「60年のあゆみ」と題したスライドショーを上映しました。懐かしい写真の数々に触れて、多くの皆様に60年の歴史を共有していただけたものと思います。また、記念品として、法人内の就労活動で取り扱っている自主商品のうち、トートバッグ・おこし蟹せんべい・ハニースク・山口の地酒「鍋島」で取り扱っている日本酒の4点を選定し、ご来場者の皆様にお配りしました。大変な好評をいただき、南風荘の就労活動の幅の広さを皆様にお披露目できたことはとても名誉であり、誇りにさえ感じる事が出来ました。

併せてお配りした記念誌の発刊にあたりましては、県知事や市長をはじめ、関係団体や同窓生の皆様に多数寄稿していただき、大変ありがたく思っております。南風荘の60年の歴史を編纂して行く中で、先輩諸氏が苦労に苦労を重ね、障害を持った方々が平等で対等に社会へ出て生き抜くようにと、日々欠かさず努力を続けられた様が痛いほどわかりました。さらには、社会福祉法人南風荘は山口県で初めて、障害を持った方々が働くことに重きを置いた施設であり、常に新しい制度へのチャレンジ精神を欠かさず、果敢に挑み続け、絶えず制度が変わる時代に先取りして実践し、成長を遂げてきたことを再認識しました。障害を持った方々が社会で自立した生活を営むために、共に力を合わせて歩んでいけるよう、この南風荘魂を今後も忘れることなく継承していきたいと思えます。

創立60周年を節目に、シンボルマークを制定いたしました。制作は、山口県出身で二科展デザイン部副理事長の縄田健次氏にお願いしました。今回の制作にあたっての、縄田健次氏のお考えをご紹介します。

「新しい時代の基盤づくりに重要な4つの視点」

1. 心構えとして

時代変化にともなうウォンツに果敢に挑戦する気持ちを持ち続ける。

※人間生活を営む上で不可欠な生理的な必要を「ニーズ(needs)」と呼びます。この必要が満たされた後で、贅沢なものが欲しいという欲求を「ウォンツ(wants)」と呼んで、区別することがあります。

2. 目標を定める

目指す方向を随時目標として明確に示す。

3. チームワークで能力の向上を

どんな問題も解決する強い現場力を身につけ、利用者と地域社会の期待に応えるため、従事者全員が力を一つに合わせ、まだある潜在力のアップを目指す。

4. 理想を追求するために

置かれた状況・課題を真正面から受けとめ、自らの知恵と関係者の叡智を結集してコトを成し遂げる。



社会福祉法人
南風荘

【シンボルマークについて】

このシンボルマークは、「N」と「V」で構成されています。「N」は南風荘の頭文字であり、「V」は「Visitor:訪問者」「Variety:多様性」「Vitality:活力・生命力」「Value:価値」「Victory:勝利」の5つの意味を持っています。訪れる人に対して、施設の持つ多様性を生かし、それぞれに生き生きとした仕事と暮らしを提供する。その中で新たな自らの価値を創造し、それらを共有して勝利者への道を目指す活動を推進する組織体の再構築を目指す。こんな想いでデザインされています。

セルプ南風

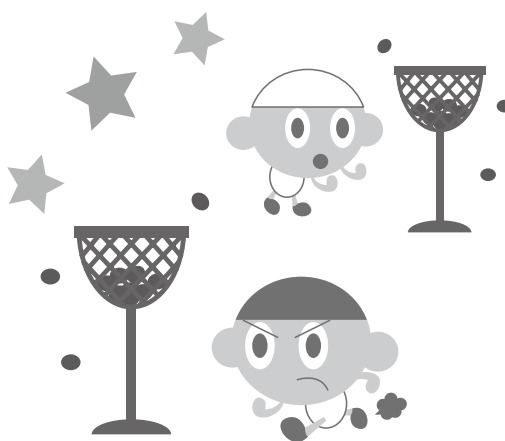
みんなで楽しく

運動会♪

セルプ南風の運動会がコロシアムにて開催されました。まずはみなさんと一緒に楽しく準備運動をしました。

競技内容はパン食い競争、玉入れ、障害物競争などいろいろありましたが、自分が一番印象に残っているのは玉入れです。玉入れでは職員の方もみなさんと一緒に盛り上がりました。結果は白組が勝ちました。またこのような行事に参加したいです。

梶谷 大河



セルプときわ

クリスマス食事会

12月16日(火)にクリスマス会を行いました。今年は午前中に自立訓練と生活介護との合同で音楽活動を行い、きよしこの夜の歌に合わせ手話をし、クリスマスソングを歌い、楽器演奏などされ楽しめました。その後のクリスマス食事会では、就労継続B型の利用者の方々も集まりました。ケーキにいちごや生クリームなどトッピングを楽し



まれた後、ポトフや海藻サラダ、から揚げなどの昼食と共に食べられました。会の締めくくりのクリスマスプレゼントのくじ引きでは、ひと足早くサンタもやってきて、くじで当たったプレゼントに喜び、見せ合いっこをされ、皆様嬉しそうな様子でした。終始クリスマススムードの漂う一日でした。

生活支援員

仁保貴之





セルプ岡の辻

グラウンドゴルフ大会

グラウンドゴルフ大会のアトラクションコースの幾つかは、私が作った物で、攻略法を事前に考えていたこともあり、ハイスコアが出て優勝することが出来ました。

優勝賞品のタラバガニは、美味しく頂きました。

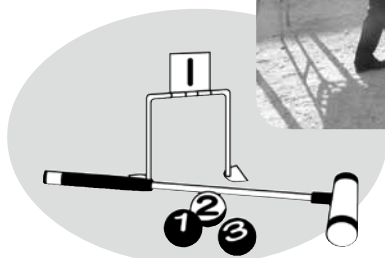
儀間 順昭

セルプ藤山

社会福祉法人南風荘創立
60周年記念

『研修旅行に行ってきました』

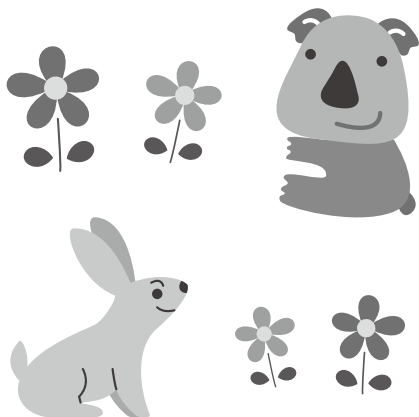
平成二十六年十一月一、二日に京都・淡路島へ大自然を満喫する旅に出かけました。雨が心配されましたが、皆さんのパワーのお陰で曇り空に！セルプ藤山の皆さんの運の良さを実感しました。



初日は、『太秦映画村』で時代劇のスターになりきり、『二条城』で厳肅な気分になり、夜は宴会で盛り上がり！今年は利用者の皆さんと職員が一緒に歌い踊りました。

二日目は『淡路ファームパーク』でコアラやウサギを見て童心に帰り、『淡路夢舞台 奇跡の星の植物館』では大規模な植物館に歓声をあげました。

皆さんからも「また行きたい」「食事が美味しかった」「植物館がとても良かった」とのご意見をいただき、とても好評でした。また一年間、一生懸命に仕事をして、来年はどこに行く？利用者さんと職員が一丸となって、セルプ藤山を盛り上げていきましょう！



ぴあ南風

宇部総合支援学校及び 福祉型障害児入所施設 このみ園の見学

相談支援事業所「ぴあ南風」では、身体・知的・精神に障害をお持ちの方々の相談に加え、最近では障害をお持ちの児童・生徒のご家族からの相談件数も増えております。そのため、障害をお持ちの児童・生徒の方の学校での様子や普段の生活を学ぶために、11月28日にぴあ南風に所属していただけるピアカウンセラー(同じ悩みや障害をもつ仲間の相談に乗り、悩みや障害をその人自身で克服できるように援助する人)の皆様と、宇部総合支援学校及び福祉型障害児入所施設このみ園に見学に行って参りました。

宇部総合支援学校では、児童・生徒の方、お一人ひとりの教育的ニーズを把握し、将来を見据えての、小・中・高等部での連携した教育が行わ



れているなということを感じることができました。またこのみ園でも、「その人らしさを大切に」という基本理念のもと、障害児の方お一人ひとりの、よりきめ細かな支援が実践されているなと感じました。この度の研修を今後の相談支援業務に活かしていきたいと思っております。

長崎国体 ～長崎がんばらんば大会～

11月1日～3日まで「長崎がんばらんば大会」に参加しました。新居田さんはソフトボール投・100m走、道重さんは砲丸投・ソフトボール投に出場し、二人とも両種目金メダルを受賞しました。悪天候でしたが、持てる力を十分に発揮できた大会でした。



職員表彰

宇部市社会福祉協議会会長表彰



セルプときわ
安藤 宣子

この度は、このような表彰をいただきましてありがとうございました。社会福祉法人南風荘でお世話になり、早いもので10年が経ちました。多くの皆様に支えられ、様々な経験をさせていただいたおかげだと思っております。

これからも、皆様と一緒に成長していきたいと思っておりますので今後ともよろしくお願いいたします。

新人職員紹介

セルプ南風



田中恵子 (生活支援員)
慣れない仕事に戸惑う毎日ですが、利用者さんの笑顔に助けられ頑張っています。これからも宜しく願います。



藤井寛久 (職業指導員)
利用者の皆さんと共に、楽しく働けたらいいなと思っています。どうぞよろしくお願いします。



鈴川裕二 (生活支援員)
まだまだ分からない事が多いですが、少しずつではありますが勉強していきますのでよろしくお願いします。

セルプ岡の辻



大田初美 (職業指導員)
9月から常盤中学校配膳室で働かせてもらっています大田です。これからもよろしくお願いします。



中村美佳 (職業指導員)
明るく元気に頑張ります。よろしくお願いします。



菅原 藍 (職業指導員)
これから精一杯頑張ります。よろしくお願いします。



姫野久代 (調理員)
年齢を重ねたことで「何でこんな事が」と覚えられない自分に戸惑う昨今ですが気力と努力で頑張ります。



中村芳子 (調理員)
これから色々な事を覚えて、少しでも早く仕事をこなせるよう頑張りますので宜しくお願いします。



藤重孝子 (調理員)
早く職場に慣れるよう頑張りたいと思います。

セルプ藤山



野村俊博 (生活支援員兼運転員)
勤務して半年ようやく慣れてきました。これからよろしくお願いします。



鈴川博三 (職業指導員)
利用者の皆さんや先輩職員からたくさん教えていただきながら働いております。まだまだ分からないことだらけですが、一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。



大地本 茂樹 (舎監)
びあ南風の大地本と申します。福祉の仕事は初めてで右も左もわかりませんが、明るく楽しくをモットーに頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

びあ南風

訃報 追悼 佐熊 誠二 指導員

去る9月29日に、肺炎の為、亡くなられました(享年76歳)。セルプ藤山の職業指導員として、常に利用者と共にウエス作業に携わり、時に送迎運転手として心強い存在でした。その功績に感謝すると共に、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

善意のご紹介

- ◆ 鈴木久枝様
 - ◆ 伊藤洋文様
 - ◆ 本長敦美様
 - ◆ 酒楽 祭様
 - ◆ 西重國隆様
 - ◆ 南風荘後援会様
 - ◆ 美祢市社会福祉協議会様
- 順不同

心温まる善意を頂き、誠にありがとうございました。

編集後記

2015年も良い一年になりますように。。。白石

いよいよ平成27年のスタートです。今年もよろしくお願いします。村上

今年も皆様が健康で楽しく過ごせますように！藤田

昨年は法人としての節目の年。今年も新たな気持ちで頑張ります。佐野

日に日に増していく寒さ、手足の冷えと日々格闘中。仁保